

農林水産・食品分野の公募情報（30年1月24日）

1月17日以降の新規の情報を赤字で示しています。

【研究開発関連】

■省庁等

- ・国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター：「平成30年度イノベーション創出強化研究推進事業」
<http://www.naro.affrc.go.jp/brain/innovation/koubo/h29.html>
分野等：従来の常識を覆す革新的な技術・商品・サービスを生み出していくイノベーションの創出に向け、「知」の集積と活用の場による研究開発を重点的に推進する提案公募型の研究開発事業「イノベーション創出強化研究推進事業」を推進することとし、公募により研究を委託する。
公募期間：30年1月16日～2月16日
- ・国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター：「平成29年度補正予算 生産性革命に向けた革新的技術開発事業」
<http://www.naro.affrc.go.jp/brain/productivity/koubo/h29.html>
分野等：我が国農林水産業の競争力強化を図るため、担い手の不足や高齢化など生産現場が直面する課題に対応しつつ、生産性を飛躍的に向上する技術が求められている。このため、「生産性革命・集中投資期間」である2020年までの3年間において、現場ニーズに即した明確な開発目標の下、生産者・企業・大学・研究機関等がチームを組んで、人工知能（AI）やドローン等の最先端技術を活用し、省力化・低コスト化等の生産性革命に資する実証型の研究開発について、公募を通じて委託する。
公募期間：30年1月16日～2月16日
- ・国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター：「平成29年度補正予算 革新的技術開発・緊急展開事業（うち経営体強化プロジェクト）」
http://www.naro.affrc.go.jp/brain/h27kakushin/keiei/koubo_h29/index.html
分野等：平成29年11月にTPP11交渉が大筋合意したこと、また、平成29年12月に日EU・EPAが交渉妥結したことに伴い、新たな国際環境の下で、我が国農林水産業・食品産業が持続的に維持・発展するためには、農林水産業の現場で求められている農林水産物・食品の輸出や外国産との差別化、現場の更なる生産性の向上等を可能にし、生産者の所得を向上させる技術を生み出し、確実に農林水産業等の現場に実装することで、生産者の技術力を向上させることが重要である。このため、国が定めた開発目標に向かって、研究勢力を結集し、生産者の参画の下、速やかな社会実装を目指す実証研究について、公募を通じて委託する。
公募期間：30年1月16日～2月16日
- ・水産庁：「平成29年度輸出重要種資源増大等実証委託事業」
http://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/supply/itaku/180115_namako.html
分野等：
 1. ナマコの生態、生息環境等の調査
 2. ナマコの効率的・効果的な中間育成・放流技術の開発
 3. 検討会等の開催公募期間：30年1月15日～30日
- ・環境省：「平成30年度CO2排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業」
http://www.env.go.jp/earth/ondanka/biz_local/30_a33/index.html
分野等：
 1. 交通低炭素化技術開発分野
 2. 建築物等低炭素化技術開発分野
 3. 再生可能エネルギー低炭素化技術開発分野
 4. バイオマス・循環資源低炭素化技術開発分野
 5. 社会システム革新低炭素化技術開発分野公募期間：30年1月11日～2月9日
- ・JST：「研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）ステージⅢ：NexTEP-Aタイプ」
<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/h29nextep-a-1.html>

分野等：大学等の研究成果に基づくシーズを用いた、企業等が行う開発リスクを伴う規模の大きい開発を支援し、実用化を後押しすることで、大学等の研究成果の企業化を目指す。

公募期間：29年3月31日～30年3月30日（第3回締切）

- ・JST：「産学共同実用化開発事業 NexTEP 平成29年度未来創造ベンチャータイプ」

http://www.jst.go.jp/jitsuyoka/bosyu_mirai01.html

分野等：大学等の研究成果に基づくシーズを用いた、企業等が行う開発リスクを伴う規模の大きい開発のうち、ベンチャー企業が行う、未来の産業創造に向けたインパクトの大きい開発を支援し、実用化を後押しすることで、大学等の研究成果の企業化を目指す。

公募期間：29年3月31日～30年3月30日（第3回締切）

- ・JST：「産学共同実用化開発事業 NexTEP 平成29年度一般タイプ」

http://www.jst.go.jp/jitsuyoka/bosyu_ippan01.html

分野等：大学等の研究成果に基づくシーズを用いた、企業等が行う開発リスクを伴う規模の大きい開発を支援し、実用化を後押しすることで、大学等の研究成果の企業化を目指す。

公募期間：29年3月31日～30年3月30日（第3回締切）

- ・JST：「平成30年度 大学発新産業創出プログラム（START）プロジェクト支援型」

<http://www.jst.go.jp/start/boshu/h30/index.html>

分野等：大学等にて、事業プロモーターのマネジメントのもと、市場や出口を見据えて事業化をめざした研究開発プロジェクトをJSTが支援する。

公募期間：30年1月16日～3月14日（第1次申請（平成30年度第1サイクル））

- ・JST：「平成29年度戦略的国際共同研究プログラム（SICORP）日本－中国 国際共同研究イノベーション拠点 共同研究課題募集」

http://www.jst.go.jp/inter/sicorp/announce_jointlab_3rd.html

分野等：日本、中国両国における社会や都市の抱える環境/エネルギー問題の解決に貢献することが期待される共同研究「国際共同研究イノベーション拠点」および「連携プロジェクト」の研究提案を募集する。

公募期間：30年1月19日～2月23日

- ・総務省：「平成29年度 ICT イノベーション創出チャレンジプログラム（I-Challenge!）」

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000206.html

分野等：

情報通信審議会最終答申において、「2030年に求められるサービス像」を実現するために必要となる「国が取り組むべき技術開発分野と具体的プロジェクト」として、次の7つの具体的プロジェクトが例示されている。

- ① いつでもどこでも快適ネットワーク技術
- ② G空間高度利活用基盤技術（Tokyo 3D Mapping）
- ③ 以心伝心 ICT サービス基盤
- ④ フレンドリーICT サービス技術
- ⑤ 社会インフラ維持管理サービス技術
- ⑥ レジリエント向上 ICT サービス技術
- ⑦ 車の自動走行支援基盤技術

本事業の公募対象となるのは、上記7つのプロジェクトに該当する課題をはじめ、幅広く ICT そのものの技術や、農業、医療、交通、教育などの異分野と ICT との融合をはかるなどにより、社会へ大きなインパクトをもたらす可能性を持つ、革新的な技術やアイデアを活用した新事業の創出を目指し、POC（Proof of Concept：概念検証）に取り組む技術開発課題。

公募期間：29年4月4日～30年3月30日

- ・総務省：「平成30年度戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）」

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000229.html

分野等：

1. 重点領域型研究開発
2. ICT 研究者育成型研究開発
3. 電波有効利用促進型研究開発

公募期間：30年1月5日～2月5日

- ・厚生労働省：「平成30年度厚生労働科学研究費補助金」

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000187912.html>

分野等：行政政策研究分野、疾病・障害対策研究分野、健康安全確保総合研究分野

公募期間：29年12月20日～30年1月26日

■民間等

- 一般財団法人杉山報公会：「平成30年度研究助成金」
<http://www.sugiyama-houkoukai.or.jp/joseib.html>
分野等：主として「健康な暮らしを支える産業に寄与することを目的とする研究」とし、医薬、食品、健康、環境、衛生等の分野に結びつく研究領域とする。
公募期間：29年9月1日～30年3月末日
- 公益財団法人山田科学振興財団：「2018年度研究援助」
http://www.yamadazaidan.jp/jigyo/bosyu_kenkyu.html
分野等：自然科学の基礎的研究
公募期間：29年9月25日～30年2月23日
- カクタス・コミュニケーションズ株式会社：「エディタージュ研究費 基礎研究グラント（第2回）」
<https://edge.editage.jp/editagegrant/grant-basic-research/>
分野等：若手研究者の基礎研究支援を目的とし、過去2年間科研費に採択されなかった40歳以下の研究者に年間50万円分の研究費を支給する。
公募期間：29年12月1日～30年1月31日
- 一般財団法人旗影会：「2018年度研究助成」
<http://www.nakashima-foundation.org/kieikai/entry/index.html>
分野等：
 1. 一般助成
 - 1) 畜産（生産および加工）
 - 2) 農産（生産および加工）
 - 3) 食品工業（食品工学、食品化学、食品機能、食品衛生、調理科学など）
 2. 特別助成
一般助成に示す分野のうち、タマゴに関する研究（タマゴの新規活用、健康機能、衛生、調理科学、食文化など）
公募期間：29年12月上旬～30年1月31日
- 一般財団法人糧食研究会：「2018年度研究テーマ募集」
<http://www.ryouken.or.jp/josei/>
分野等：食品機能、健康・栄養、食品加工技術、食品安全などに関する研究
公募期間：29年10月20日～30年2月20日
- 公益財団法人タカノ農芸化学研究助成財団：「平成30年度研究助成」
<http://www.takanofoods.co.jp/company/foundation/subsidy.shtml>
分野等：
 1. 豆類や穀類の生産技術（栽培、育種、植物栄養、根圏微生物等）に関する研究
 2. 豆類や穀類、並びにそれらの加工品の食品機能（栄養機能、嗜好機能、生体調節機能等）に関する研究
 3. 豆類や穀類の加工、保蔵、流通技術に関する研究、並びにそれらの発酵に関連する微生物や酵素の探索、特性、利用に関する研究
公募期間：30年1月15日～3月10日
- 公益財団法人深田地質研究所：「平成30年度深田研究助成」
<http://www.fgi.or.jp/?p=3207>
分野等：
 1. 地質学に関する研究・調査
 2. 応用地質学に関する研究・調査
 3. 地球物理学に関する研究・調査
 4. 地盤工学に関する研究・調査
 5. 環境工学に関する研究・調査
 6. 防災工学に関する研究・調査
公募期間：29年12月1日～30年2月2日
- 公益財団法人三菱財団：「第49回（平成30年度）自然科学研究助成」

<http://www.mitsubishi-zaidan.jp/support/index.html>

分野等：自然科学のすべての分野にかかわる独創的かつ先駆的研究

公募期間：30年1月10日～2月7日

- ・公益社団法人ビタミン・バイオフィクター協会：「平成30年度（2018年度）研究助成金」

<http://vitabio.sakura.ne.jp/jyosei.html>

分野等：ビタミン・バイオフィクターに関する研究

公募期間：30年1月10日～2月10日

- ・特定非営利活動法人日本分子生物学会：「第8回（2018年）日本分子生物学会 若手研究助成」

<http://www.mbsj.jp/admins/tomizawafund/8th-boshuu.html>

分野等：分子生物学に関連する生命科学の基礎的な領域において独創的な研究を行い、将来の発展を期待し得る若手研究者

公募期間：30年1月15日～2月9日

- ・公益財団法人三島海雲記念財団：「平成30年度学術研究奨励金」

<http://www.mishima-kaiun.or.jp/assist/post.html>

分野等：食の科学に関する学術研究 等

公募期間：30年1月10日～2月28日

- ・公益財団法人 荏原 崑山記念文化財団：「平成30年度研究助成」

<http://www.ebara.co.jp/csr/foundation/topics.html>

分野等：環境・エネルギー・バイオマス 等

公募期間：30年1月10日～3月6日

- ・一般財団法人東和食品研究振興会：「2018年度学術奨励金」

<http://www.towashokuhin.or.jp/academic/index.html>

分野等：

1. 食品の加工・保蔵に関する研究
2. 食品の安全性に関する研究
3. 食品の機能性に関する研究
4. 食品または水産分野におけるバイオテクノロジーに関する研究
5. 食品の未利用資源（または廃棄物）の有効利用に関する研究
6. その他食品科学に関する研究

公募期間：29年12月26日～30年3月31日

- ・公益財団法人武田科学振興財団：「2018年度生命科学研究助成」

<http://www.takeda-sci.or.jp/assist/life.html>

分野等：生命科学分野における新たな発見に貢献し、当該分野の進歩・発展の基盤となる独創的な研究

公募期間：30年1月9日～4月4日

- ・公益財団法人武田科学振興財団：「2018年度 ライフサイエンス研究助成」

<http://www.takeda-sci.or.jp/assist/lifescience.html>

分野等：生命科学分野の進歩・発展に貢献し、人類の健康増進に寄与する独創的な研究

公募期間：30年1月9日～4月4日

- ・公益財団法人関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団：「平成30年度研究助成」

<http://www.krf.or.jp/research>

分野等：エネルギー・リサイクル分野 等

公募期間：30年1月5日～8月31日

- ・特定非営利活動法人酵母細胞研究会：「地神芳文記念研究助成金 平成30年度募集」

<http://www.yeast.umin.jp/h30jigami-fund.html>

分野等：酵母、糖鎖に関する研究

公募期間：30年1月4日～3月30日

【研究開発関連以外】

■省庁等

- ・JST：「SATREPS プロジェクト成果を活用した SDGs ビジネス化支援プログラム」

<http://www.jst.go.jp/global/>

分野等：地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム（SATREPS）で得られた成果を民間企業のビジネスに取り込みながら、プロジェクトの成果をより多く社会実装化してビジネスにつなげることにより、持続可能な開発目標（SDGs）達成を目指す新たな試みを行う。プロジェクト成果に関心を示し、それを活用したビジネスの実現を目指す企業を公募し、外部専門家の支援を受けながら、企業と SATREPS 研究者が共同でビジネスモデル化を図ることを支援する。

公募期間：30年1月10日～3月2日

- ・全国中小企業団体中央会：「平成30年度中小企業活路開拓調査・実現化事業」

<http://www.chuokai.or.jp/hotinfo/30katsuro-project.html>

分野等：環境変化等に対応するため、単独では解決困難な諸テーマ（新たな活路開拓・付加価値の創造、既存事業分野の活力向上・新陳代謝、取引力の強化、情報化の促進、技術・技能の継承、海外展開戦略、各種リスク対策等）について、中小企業連携グループが改善・解決を目指すプロジェクトを支援する。

公募期間：30年1月10日～2月9日（第1次募集）、2月13日～4月9日（第2次募集）、4月10日～6月4日（第3次募集）